

<共通問題>

パソコンの活用についてお聞きします。

- ・ あなたは、パソコンを主にどのようなことに使っていますか。
- ・ パソコンを使用する際、個人情報保護についてどのようなことに留意しますか。

<中学校・国語>

【主質問】

中学校の国語の授業で、今お渡しした教材文をもとに、文学的な文章の指導をすることになりました。私たちが生徒だと思って、プリントにある文章を朗読してください。準備ができたら始めてください。

路傍の草原にごろりと寝転がった。身体疲勞すれば、精神もともにやられる。もう、どうでもいいという、勇者に不似合いなふてくされた根性が、心の隙に巣くった。わたしは、これほど努力したのだ。約束を破る心は、みじんもなかった。情も照耀、わたしは精いっぱい頑張ってきたのだ。動けなくなるまで走ってきたのだ。わたしは不慮の徒ではない。ああ、できることならわたしの胸を断ち割って、真紅の心臓をお目にかけたらいい。愛と真実の血液だけで動いているこの心臓を見せてやりたい。けれどもわたしは、この大罪な時に、情も根も尽きたのだ。わたしは、よくよく不幸な男だ。わたしは、きつと笑われる。わたしの一家も笑われる。わたしは友を欺いた。中途で倒れるのは、初めから何もしていないのと同じことだ。ああ、もう、どうでもいい。これが、わたしの定まった運命なのかもしれない。セリヌテイルスよ、許してください。

今、朗読してもらった文章は、「走れメロス」の一部分です。あなたは、この文章を指導するときに、どんなことを大切にして指導しますか。

では、今答えたことを踏まえて、私たちが生徒と考え、実際に指導してみてください。

【主質問】

中学校の国語の授業で、今お渡しした教材文をもとに、文学的な文章の指導をすることになりました。私たちが生徒だと思って、プリントにある文章を朗読してください。準備ができたら始めてください。

するとその時、岳は片手でおしづかみにしているわたしの手首を逆になぎり、頭だけくるとふり返るとそのままわたしをにらみつけた。それは岳にはめずらしく本当に怒っている、という顔だった。

「何だ！」

と、わたしは言った。

「おとうはよ、こんなふうには勝手に自分の好きなように人の頭を割っていいとおもしろいか！」

と、岳は言った。いつになく強い調子だったので、わたしは少しおどろいてしまった。

「どういうことだ？」

と、わたしも成り行き上少し荒々しい口調で言った。

「おとうはよ、いつも命令ばかりだよな。自分の好きなように命令ばかりしてよ、命令を聞かないと怒ってよ、それで怒ってはっかりしてよ。」

と、岳は言った。そこまで言うとは根の付け根を赤くし、わたしをにらみつけながら不意にほろぼろと大つぶのなみだをこぼし始めた。

今、朗読してもらった文章は、「ふるちの散髪」の一部分です。あなたは、この文章を指導するときに、どんなことを大切にして指導しますか。

では、今答えたことを踏まえて、私たちが生徒と考え、実際に指導してみてください。

【主質問】

中学校の国語の授業で、今お渡しした教材文をもとに、文学的な文章の指導をすることになりました。私たちが生徒だと思って、プリントにある文章を朗読してください。準備ができたら始めてください。

オツベルはやつと髪を洗って、風呂敷の裏に出で、髪に水をしようとしたが、その時

衆が、とてもきれいな、うぐいすみたいないい声で、こんな文句を言ったのだ

「ああ、だめだ。あんまりせわしく、砂がわたしの髪に当たる。」

「さあ、オツベルは命がけだ。パイオを右手に握り直し、度胸をすえてこう言った。

「どうだい、ここはおもしろいかい。」

「おもしろいねえ。」衆が体をななめにして、目を細くして返事した。

「ずうとこつちにはいからどうだい。」

百姓どもははつとして、息を殺して衆を見た。オツベルは言ってしまったから、にわかには

たがたおろした。

「いいもいよいよ。」と答えたもんだ。

「そうか、それではそうしよう。そういうことにしようじゃないか。」オツベルが顔をくしやくしやにして、此の赤になつて皆ひながらそう言った。いまに見たまえ、オツベルは、あの白

髪を、胸かせるか、チーカス団に張り飛ばすか、どつちにしても万円以上もうけるぜ。

今、朗読してもらった文章は、「オツベルと衆」の一部分です。あなたは、この文章を指導するときに、どんなことを大切にして指導しますか。

では、今答えたことを踏まえて、私たちが生徒と考え、実際に指導してみてください。